

令和7年度
京の森林文化を守り育てる支援事業
(募集要項)

京都府では、「豊かな森を育てる府民税」を活用し、地域の皆さまに親しまれ、地域の文化と深く結びついて大切に守られてきた森林や樹木を将来の府民に引き継いでいくための活動を支援しています。

募集期間 4月1日（火）～6月13日（金）

令和7年度の事業募集は終了しました

目 次

1	はじめに	P	1
2	募集内容	P	1
3	事業期間	P	1
4	事業実施主体（応募団体）	P	2
5	補助対象経費等	P	2
6	留意事項	P	2
7	補助金額	P	3
8	事業の募集	P	3
9	事業計画の審査	P	3
10	審査結果の通知	P	5
11	補助金の交付申請	P	5
12	専門家アドバイザーによる助言	P	5
13	府民税活用表示（木製看板）の設置	P	5
14	申請の流れ	P	6
15	事業計画書	P	7
	【別記様式 事業計画書】	P	7
	【記載例：森林の保全】	P	9
	【記載例：樹木の保全】	P	11
	【添付書類】	P	13
16	担当窓口	P	15
17	事業説明会・個別相談会	P	16

令和7年度京の森林文化を守り育てる支援事業 募集要項

令和7年度の京の森林文化を守り育てる支援事業(以下、「本事業」といいます。)について、次のとおり募集します。

1 はじめに

京都府では、豊かな森を育てる府民税活用事業の一環として、平成29年度に本事業を創設し、地域の文化と深く関わりのある社寺の森、文化・伝説の森、地域の伝統行事・伝統産業を支えてきた森の保全や地域のシンボルとなっている名木古木等の樹木の保全など、地域住民や保全団体などが行う活動を支援し、京の森林文化を将来の府民に伝える取組を推進しています。

2 募集内容

本事業の内容は次のとおりです。(府内で実施するものに限りです。)

【対象事業】

社寺の森の保全事業	神社、仏閣などの歴史的遺産と一体となって、地域で大切に守られてきた森林の保全事業
文化・伝説の森の保全事業	古道や山城跡などの文化遺産や伝説・伝承の舞台となった森林の保全事業
伝統行事資源の森の保全事業	府内の伝統行事に用いられる植物を育成するための森林の保全事業
伝統産業資源の森の保全事業	府内の伝統産業の素材に用いられる植物を育成するための森林の保全事業
名木古木の保全事業	地域のシンボルとして親しまれている名木や古木など樹木の保全事業

【事業内容例】

①森林の整備・維持管理	下層植生の保全・復元、自然植生の育成、放置竹林の整備・拡大防止、茅場保全、森林管理歩道の維持修繕 など
②森林の改良	樹木の植栽や補植、樹種転換、植生復元 など ※外来種や園芸品種の植栽等は対象外
③被害木対策	自然災害や森林病虫害等の被害による枯死木・枯損枝の除去、倒木処理、傾木・幹折れ・枝折れ等の被害木対策 など ※枯死木や枯損枝、災害等の被害を受けた木以外は対象外
④森林病虫獣害対策	松くい虫やナラ枯れ等の森林病虫害の予防・駆除、シカ防護柵設置、外来種防除対策 など
⑤樹木の蘇生対策	樹勢回復治療、土壌改良、根系保護柵、次世代育成 など
⑥調査・保全手法検討	植生調査、動植物調査、樹木診断、土壌調査、保全手法検討 など ※①～⑤の事業実施に伴うものに限る。

3 事業期間

補助金交付決定の日から令和8年3月13日(金)まで

4 事業実施主体（応募団体）

本事業に応募できるのは、地域の自治活動を行う団体又は森林等を保全する活動を行う団体です。法人格の有無は問いません。

（例） 自治会、町内会、地域協議会などの地域住民による団体
NPO 法人、守る会、実行委員会などの保全団体

5 補助対象経費等

補助の対象は、本事業を実施するために必要な次の経費です。

なお、採択の際に条件を付す場合があります。

費 目	内 容
賃金	外部の補助員の雇用に係る賃金
報償費	外部の講師に対する謝金・技術指導料
旅費	外部の補助員や講師に対する旅費（実費）
需用費	事業に必要な用具代、燃料費、印刷代等（食糧費を除く。）
役務費	郵送料や運搬料、傷害保険料等
委託料	専門的知識・技術等を有する外部への委託に要する経費
使用料及び賃借料	機材や車両の借上料等
工事請負費	外部への工事請負に要する経費
原材料費	苗木や木材等の購入費
備品購入費	機械器具類等の購入費（汎用性のあるものを除く。）

（仕入控除税額の減額）

事業実施主体（応募団体）が、実施年度において消費税及び地方消費税の課税事業者となる場合は、必要経費から本補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額を減額した額が補助対象経費となります。

6 留意事項

(1) 府内事業者の選定

上記費目のうち、委託料、工事請負費により保全事業を実施する際には、府内における保全技術の伝承や次代の人材育成の観点から、原則として府内事業者を選定してください。

なお、特殊技術等により府内に実施可能な事業者がないなどの場合は、この限りではありません。

(2) 事業費の見積合わせ

上記費目のうち、委託料、工事請負費、備品購入費については、原則として複数業者の見積合わせを行い、最も安価な額を事業費としてください。

(3) 以下のような経費は補助対象外です。

① 事業実施主体となる団体の運営に係る経常的な経費

（団体構成員への人件費や車両借上代などの支払、電話代、光熱水費、ガソリン代、事務用品代など経常的な経費と区分できない経費も含む。）

② 食糧費（飲食代など）

③ 用地取得費、事業実施場所の森林所有者に対する謝礼及び土地使用料

④汎用性のある備品

(本事業以外の活動に必要な備品と明確に区別できない備品)

なお、一時的に使用するなど使用頻度が低い場合や補助事業終了後の継続使用が見込めない場合は、原則借り上げとしてください。

7 補助金額

補助金の額は、補助の対象となる経費のうち100万円以内の定額

千円未満の端数が生じた場合は切捨てとなり、100万円を越える経費については事業実施主体となる団体の負担となります。

なお、事業の採択決定にあたり、事業内容等により経費の一部を査定する場合があります。

8 事業の募集

(1) 募集期間

令和7年4月1日(火)から6月13日(金)まで

(2) 応募書類

別記様式「事業計画書」に必要書類を添付して提出してください。

事業計画書の様式は、府のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.pref.kyoto.jp/shinrinhozen/moribunka.html>



京の森林文化

検索

(3) 提出先 (担当公所)

15 ページの「担当公所」を御覧いただき、事業実施場所を所管する広域振興局農林商工部森づくり振興課、京都林務事務所林務課に提出してください。

なお、事業内容に関する御相談や応募書類作成の御質問等についても、担当公所にお問い合わせください。

(4) 応募方法

次のいずれかの方法により担当公所宛てに応募書類を提出してください。

なお、e-mailでの応募の場合は受信確認メールを送信しますので、万一数日以内に返信がな場合は担当公所宛てお問い合わせください。

e-mail (募集期間最終日までのメール送信有効)

郵送 (募集期間最終日の当日消印有効)

持参 (受付時間は平日の午前8時30分～12時、午後1時～5時)

} 提出部数1部

(5) その他

事業は継続して3箇年まで応募できますが、1団体あたりの補助金総額の上限は100万円までです。採択は単年度ごとの審査になり、2年目以降の採択を約束するものではありません。

9 事業計画の審査

提出された事業計画は、京の森林文化を守り育てる支援事業検討委員会から学術的な見地からの意見を聴いた上で、府が審査し採否及び補助額を決定します。審査に当たっては、次の項目に関して評価し、総合的に評価の高いものから予算の範囲内で採否を決定します。

なお、委員会委員には資料として事業計画書及び添付資料の写しを提出いたします。審査の過程で事業の内容等について、応募団体に説明や追加資料の提出を求める場合があります。

【評価項目】

I 事業対象に関すること

記号	区分	内 容
I-①	多様性	多様な生物種を保存するなど、地域の生物多様性の重要な拠点となっている群落
I-②	希少性 特異性	府内が北限や南限となっている、府内で希少である、かつては普通に見られたが希少となりつつあるなど、特異性や希少性の高い群落や名木古木
I-③	象徴性	古くから地域のシンボルとして地域住民に親しまれてきたなど、象徴性の高い群落や名木古木
I-④	歴史性	歴史の舞台に登場した、もしくは古い絵図に掲載されているなど、歴史性の高い群落や名木古木 古くから伝統行事や伝統産業に必要な素材となる動植物の生産地とされてきたなど、歴史性の高い群落
I-⑤	公共性	地域の人々が集い、清掃や日常管理されているなど、住民相互による地域コミュニティの場として重要な位置づけとなっている公共性の高い森林や名木古木
I-⑥	その他	その他、ナラ枯れやシカ害などにより特に緊急的な保全を要する群落、枯死の危険が迫る名木古木など、特に理由のあるもの

II 保護制度の指定状況等に関すること

記号	区分	内 容
II-①	指 定	歴史的な自然環境保全地域(府)、歴史的風土保存区域(国)、自然風景保全地区(市)、天然記念物(府・市町)、文化財環境保全地区(府・市) など
II-②	選 定	天上の木(府)、京都の自然 200 選(府)、京都市の巨樹名木、宇治市名木百選、亀岡の自然 100 選、福知山市の名木 など
II-③	調 査	京都府レッドデータブック地域生態系(府)、京都府の社寺林調査(府)、巨樹・巨木林調査(国) など

III 事業計画に関すること

記号	区分	内 容
III-①	継続的な 保全活動	事業対象に対し日頃から地域住民や保全団体による継続的な保全活動が行われており、それらの活動と連携した事業計画となっている。
III-②	環境への 配慮	森林整備や枯死木処理にあたり、野鳥等の営巣や隠れ場として重要な空洞木は保存するなど、自然環境に配慮した事業計画となっている。
III-③	専門的知 見の反映	植生や樹木の専門家への事前相談を行うなど、専門的な知見が反映された事業計画となっている。
III-④	総合的な 保全対策	倒木処理などの単独の対策だけでなく、その後の植生遷移も見据えた森林の総合的な保全対策を行う事業計画となっている。

IV 事業効果に関すること

記号	区分	内 容
IV-①	必要性	地域住民からの強い要望があるなど、必要性の高い事業であること。
IV-②	実効性	経費、内容、推進体制などから実効性の高い事業であること。
IV-③	協働性	関係者の協力が得られ、地域住民等が協働して行う事業であること。
IV-④	効果性	事業により森林を守り育てる意識の向上が見込まれる事業であること。
IV-⑤	波及性	施策のモデルとなり、府域全体への波及効果の高い事業であること。

10 審査結果の通知

審査結果は、応募団体宛てに通知します。

11 補助金の交付申請

補助金を受けるには、別途補助金交付申請手続が必要となります。事業は補助金交付決定後に着手してください。交付決定前の契約や購入、支払いなどを行った場合は、補助の対象外となりますので御注意ください。

12 専門家アドバイザーによる助言

採択された事業の実施にあたり、希望により森林の整備、植生の保全復元、鳥獣害対策、ナラ枯れ対策、樹木の蘇生などに関する専門家の助言を事業実施場所などで受けることができます。

なお、アドバイザーに要する経費は府で負担します。

13 府民税活用表示（木製看板）の設置

本事業は、「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源としており、その使い道と効果について広く府民に明らかにする必要があります。事業実施に際し補助事業者において次の表示例により、「京都府豊かな森を育てる府民税活用事業」であることを表示する木製看板を事業地の目立つ箇所に設置してください。看板製作に要する費用は、補助の対象経費とすることができます。

（規格例）

横型（表示面サイズ A3版 297×420mm～A2版 420×594mm 程度）

縦型（表示面サイズ 200～250×500～600mm 程度）

◎木製で耐久性のあるもの

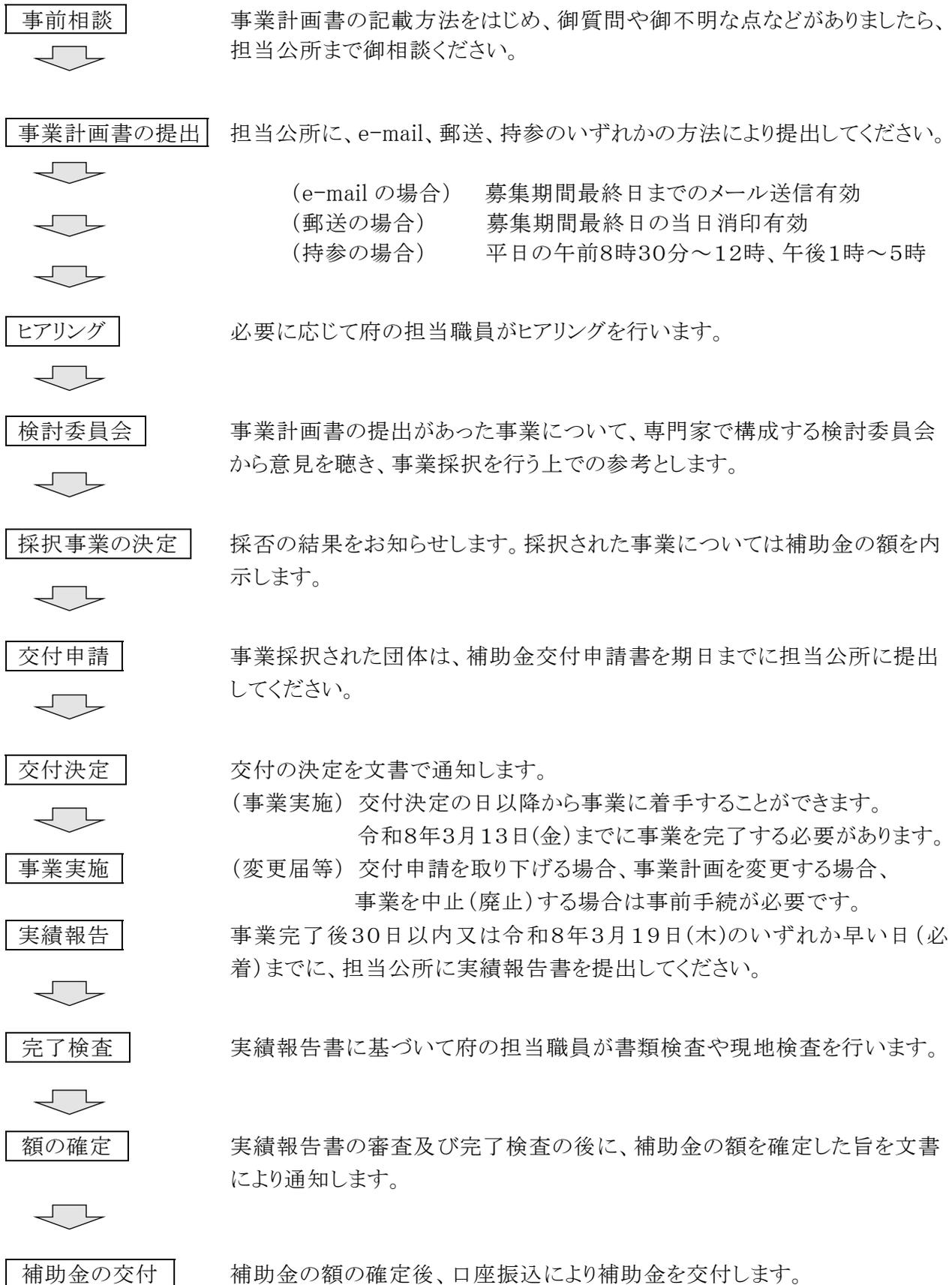
（表示例）

「この事業は「京都府豊かな森を育てる府民税」を活用して実施しました。令和7年度事業」
「令和7年度 京都府豊かな森を育てる府民税活用事業」 など

（作成例）



14 申請の流れ



2 事業計画

事業内容	事業費（円）	負担区分（円）			備考
		府補助金額	団体費	その他	
計					

※「費用区分のその他」があれば、内容を備考欄に記載してください。

3 事業費算出根拠

費目	予算額(円)	算出内訳	見積書番号
			No.
			No.
計			

※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積合わせを行ってください。

4 審査の評価項目に関する事項

※「9 事業計画の審査」の評価項目(P4)のうち、該当事項があれば記載してください。

記号	具体的な内容

※記載の評価項目に関連する写真や資料があれば添付してください。

5 団体の状況

ふりがな 名称	
団体種別 (該当に○を記入)	認可地縁団体(法人)、その他自治会、町内会、地域協議会、NPO法人、 任意の保全団体、実行委員会、その他()
消費税課税事業者 (該当に○を記入)	免税事業者、課税事業者、未定(確定見込み時期 月頃)
主たる事務所の所在地	(住所)〒 TEL () e-mail
代表者名	(役職名) ふりがな (氏名)
会計担当者名	(役職名) ふりがな (氏名)
事務担当者	ふりがな (氏名) (書類等送付先) 〒 TEL () e-mail
会員数	
結成年度	
主な活動内容	

※(役職名)は、団体の規約等に記載の名称としてください。

6 添付書類

- ①事業費の算出根拠(見積書など) ※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積書を添付
- ②団体の規約、役員名簿、団体の活動内容がわかる資料など
- ③現地写真(事業地の遠景、森林内や樹木の状況、歴史的遺産など)
- ④事業実施場所の位置図、事業地図
- ⑤歴史的遺産等に関する資料(由緒、来歴など)
- ⑥その他参考となる資料

【記載例：森林の保全】

別記様式 事業計画書(実施要領第6関連)

令和7年〇月〇〇日

京都府知事 〇〇〇〇 様

(補助事業者)

役職名は、団体規約等に
記載の名称としてください。
押印は不要です。

所在地 〇〇市〇〇町字〇〇***-**
団体名 〇〇神社の森を守る会
代表者(役職名・氏名) 会長 〇〇〇〇

令和7年度京の森林文化を守り育てる支援事業計画書の提出について

令和7年度において京の森林文化を守り育てる支援事業を実施したいので、下記のとおり事業計画書を提出します。

記

【京の森林文化を守り育てる支援事業計画書】

1 事業概要

事業名	〇〇神社の森保全事業
対象事業の区分	①社寺の森 ②文化・伝説の森、③伝統行事資源の森、④伝統産業資源の森、⑤名木古木
事業実施場所	〇〇市〇〇町字〇〇 〇〇神社所有山林内
歴史的遺産等の名称・説明	〇〇神社 〇〇時代創建と伝わる式内社で、境内には〇〇時代の本殿(重要文化財)や拝殿等の歴史的遺産が周囲の森林と一体となって保持されている。
保全対象の現状と事業実施の必要性	群落名 〇〇群落 区域面積 〇〇.〇ヘクタール 現状及び必要性 〇〇神社の森は、日頃から当会で〇〇などの維持管理活動を行っているが、近年の台風やナラ枯れの被害で森林内に枯死木や倒木の太木が増加し、竹が繁茂するなど森林内が荒廃しているため、〇〇や〇〇などの森林整備を行うとともに、次世代の植生を育成する対策を行う必要がある。
事業内容	森林整備及び次世代育成 ※作業内容・数量を具体的に記載してください。 ①枯死木伐採、倒木処理:〇本、クレーン利用 ②放置竹林整備:対象面積〇ha、伐採率〇% ③次世代植生の育成:郷土苗育成(苗畑〇ha、伐採跡地への補植〇本)
事業費	〇〇〇, 〇〇〇円 (府補助金額) □□□,000円 ※千円止め
期待される事業効果	当会メンバーの労力だけでは困難な作業を専門業者に委託して荒廃した森林を整備するとともに、次世代の植生を育成することで、以降の保全活動をより活発なものにしていき、〇〇神社の森を将来につなげて行く。
完了予定年月日	令和〇年〇月〇日 ※令和8年3月13日(金)迄に事業を完了してください。
地権者同意	地権者名: 宗教法人〇〇〇神社 代表役員 〇〇〇〇 同意(内諾)済み 調整中 その他() ※採択決定後、交付申請書の提出時には地権者の同意書が必要となります。
豊かな森を育てる府民税のPR方法	事業終了後に木製看板を設置して、豊かな森を育てる府民税事業であることを明示する。

2 事業計画

事業内容	事業費 (円)	負担区分 (円)			備考
		府補助金額	団体費	その他	
・枯死木伐採・倒木処理 (内容) 伐採、玉切、搬出	***,***	***,***	***,***		
・放置竹林整備 (内容) 竹の抜き切り	***,***	***,***	***,***		
計	000,000	□□□,000	***,***		

※「費用区分のその他」があれば、内容を備考欄に記載してください。

3 事業費算出根拠

費目	予算額(円)	算出内訳	見積書番号
委託料	***,***	別添見積書のとおり(伐採、処理、予防)	No.1~3 ※
需用費	***,***	別添見積書のとおり(□□の購入)	No.4
計	000,000	—	—

※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積合わせを行ってください。

4 審査の評価項目に関する事項

※「9 事業計画の審査」の評価項目(P4)のうち、該当事項があれば記載してください。

記号	具体的な内容
I-⑤	毎年、〇〇を行うなど、地域コミュニティの重要な場となっている。(活動写真)
II-①	〇〇文化財環境保全地区
III-②	野鳥等が営巣する樹洞のある枯死木は伐採せず保存し、森林の生態系に配慮。
III-④	倒木処理だけでなく、次世代の森林育成を考えた総合的な保全計画としている。

※記載の評価項目に関連する写真や資料があれば添付してください。

5 団体の状況

ふりがな 名 称	〇〇じんじやのもりをまもるかい 〇〇神社の森を守る会		
団体種別 (該当に○を記入)	認可地縁団体(法人)、その他自治会、町内会、地域協議会、NPO法人、 任意の保全団体、実行委員会、その他()		
消費税課税事業者 (該当に○を記入)	免税事業者、課税事業者、未定(確定見込み時期 月頃)		
主たる事務所の所在地	(住所) 〒***-****	〇〇市〇〇町〇〇***-***	
	TEL ***(***)***	e-mail *****@***.***.***	
代表者名	(役職名) 会長 ※	ふりがな 〇〇〇〇 (氏名) 〇〇〇〇	
会計担当者名	(役職名) 会計 ※	ふりがな △△△△ (氏名) △△△△	
事務担当者名	ふりがな △△△△ (氏名) △△△△ TEL ***(***)***	(書類等送付先) 〒***-**** 〇〇市〇〇町〇〇***-*** e-mail *****@***.***.***	
会員数	〇〇名		
結成年度	〇〇年度		
主な活動内容	〇〇神社の森の保全及び維持管理		

※(役職名)は、団体の規約等に記載の名称としてください。

6 添付書類

- ① 事業費の算出根拠(見積書など) ※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積書を添付
- ② 団体の規約、役員名簿、団体の活動内容がわかる資料など
- ③ 現地写真(事業地の遠景、森林内や樹木の状況、歴史的遺産など)
- ④ 事業実施場所の位置図、事業地図
- ⑤ 歴史的遺産等に関する資料(由緒、来歴など)
- ⑥ その他参考となる資料

【記載例：樹木の保全】

別記様式 事業計画書(実施要領第6関連)

令和7年〇月〇〇日

京都府知事 〇〇〇〇 様

(補助事業者)

役職名は、団体規約等に
記載の名称としてください。
押印は不要です。

所在地 □□市□□町字□□
団体名 □□自治会(認可地縁団体)
代表者(役職名・氏名) 会長 □□ □□

令和7年度京の森林文化を守り育てる支援事業計画書の提出について

令和7年度において京の森林文化を守り育てる支援事業を実施したいので、下記のとおり事業計画書を提出します。

記

【京の森林文化を守り育てる支援事業計画書】

1 事業概要

事業名	□□ゆかりのカヤの名木保全事業
対象事業の区分	①社寺の森、②文化・伝説の森、③伝統行事資源の森、④伝統産業資源の森、 ⑤名木古木
事業実施場所	□□市□□町□□**-** □□神社境内
歴史的遺産等の名称・説明	□□ゆかりのカヤ 地元では古くから〇〇の□□伝説ゆかりの木として伝わり、江戸期の古文書や□□名所図会にも描かれている。
保全対象の現状と事業実施の必要性	樹種名 カヤ ----- 幹周 □□.□メートル 樹高 約□□メートル
	現状及び必要性 □□ゆかりのカヤは、□□地域のシンボルとして地域住民に大切に守られてきたが、近年、枯枝が目立ち樹勢が弱りつつあり、樹木医の診断では放置すれば枯死のおそれもあるとされたため、治療を行う必要がある。
事業内容	カヤの樹勢回復のため樹幹及び枝の腐朽部分の治療と根系保護を行う。 ①樹幹治療:腐朽部分の切除〇箇所、****〇箇所、****〇箇所 ②枯枝除去:枯死している直径約〇cm大枝〇箇所の除去 ③土壌改良:土壌〇m ³ の入れ替え ※作業内容・数量を具体的に記載、診断書等があれば添付してください。
事業費	〇〇〇,〇〇〇円 (府補助金額) □□□,000円 ※千円止め
期待される事業効果	専門的な知識と技術を要するカヤの治療を樹木医に委託し、樹勢回復を行うことで、地域住民の日常の保全活動を一層活発に行っていく。
完了予定年月日	令和〇年〇月〇日 ※令和8年3月13日(金)迄に事業を完了してください。
地権者同意	地権者名: 宗教法人〇〇〇寺 代表役員 〇〇〇〇
	同意(内諾)済み 調整中 その他() ※採択決定後、交付申請書の提出時には地権者の同意書が必要となります。
豊かな森を育てる府民税のPR方法	事業終了後に木製看板を設置して、豊かな森を育てる府民税事業であることを明示する。

2 事業計画

事業内容	事業費 (円)	負担区分 (円)			備考
		府補助金額	団体費	その他	
・樹幹治療 (内容) 腐朽部治療	***,***	***,***	***,***		
・枯枝除去 (内容) クレーン使用	***,***	***,***	***,***		
計	000,000	000,000	***,***		

※「費用区分のその他」があれば、内容を備考欄に記載してください。

3 事業費算出根拠

費目	予算額(円)	算出内訳	見積書番号
委託料	000,000	別添見積書のとおり	No.1～3 ※
計	000,000	—	—

※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積合わせを行ってください。

4 審査の評価項目に関する事項

※「9 事業計画の審査」の評価項目(P4)のうち、該当事項があれば記載してください。

記号	具体的な内容
I-④	江戸期の絵図にも描かれ、〇〇伝説で知られる歴史性のある巨木
II-①	〇〇市天然記念物指定、〇〇市名木100選選定
III-③	樹木医の調査で樹幹や根系について治療の必要ありとの診断 (診断書)
IV-③	引き続き、住民協働で古木周辺の灌木除去などの保全活動を行う。(活動写真)

※記載の評価項目に関連する写真や資料があれば添付してください。

5 団体の状況

ふりがな 名 称	<input type="checkbox"/> 〇〇じちかい <input type="checkbox"/> 〇〇自治会
団体種別 (該当に○を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 認可地縁団体(法人)、その他自治会、町内会、地域協議会、NPO法人、 任意の保全団体、実行委員会、その他()
消費税課税事業者 (該当に○を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 免税事業者、課税事業者、未定(確定見込み時期 月頃)
主たる事務所の所在地	(住所) 〒***-**** □□市□□町□□***-*** Tel ***(***)*** e-mail *****@***.***.***
代表者名	ふりがな ○○○○ (役職名) 会長 ※ (氏名) ○○○○
会計担当者名	ふりがな △△△△ (役職名) 会計 ※ (氏名) △△△△
事務担当者名	ふりがな △△△△ (書類等送付先) (氏名) △△△△ 〒***-**** □□市□□町□□***-*** Tel ***(***)*** e-mail *****@***.***.***
会 員 数	〇〇名(自治会等の場合は所属する住民数か世帯数を記載ください。)
結成年度	—
主な活動内容	<input type="checkbox"/> 〇〇地区の自治活動

※(役職名)は、団体の規約等に記載の名称としてください。

6 添付書類

- ①事業費の算出根拠(見積書など) ※委託料、工事請負費、備品購入費は複数業者の見積書を添付
- ②団体の規約、役員名簿、団体の活動内容がわかる資料など
- ③現地写真(事業地の遠景、森林内や樹木の状況、歴史的遺産など)
- ④事業実施場所の位置図、事業地図
- ⑤歴史的遺産等に関する資料(由緒、来歴など)
- ⑥その他参考となる資料

【添付書類】

① 事業費の算出根拠の例

品名	数量	単価	金額
伐採作業 (〇〇区画、〇〇区画、〇〇区画)	〇〇区	〇〇〇, 〇〇〇	〇〇〇, 〇〇〇
運搬 (〇〇区画、〇〇区画、〇〇区画)	〇〇区	〇〇〇, 〇〇〇	〇〇〇, 〇〇〇
小計			〇〇〇, 〇〇〇
消費税			〇〇〇, 〇〇〇
合計			¥1,234,567.89

- ・見積書の宛名は**応募団体の名称**としてください。
- ・見積書や積算の内訳には、作業内容、単価、数量などの具体的な事業内容を記載したものとしてください。
※「作業一式」など、具体的な事業内容の記載のない見積書は不可です。
- ・費目が**委託料、工事請負費、備品購入費**の場合は、**複数業者の見積合わせ**をしてください。
- ・見積書は事業者の押印のあるものとし、写しを提出してください。
- ・伐採した樹木の販売により**収益が見込まれる場合は、経費を除いた収益見込額**を見積書に計上し、**事業費から減額**してください。

② 団体の規約、役員名簿など

- ・自治会や町内会などの地域住民による団体の場合は、会則と役員名簿(役職・氏名・住所など)を添付してください。会則がない場合は役員名簿のみでも構いません。NPO 法人や保全団体の場合は、定款又は会則、役員名簿を添付してください。その他、応募団体の日頃の活動内容がわかる資料があれば添付してください。

③ 現地写真の例

◎森林の保全の場合
事業地の遠景



森林内の状況

被害地の状況



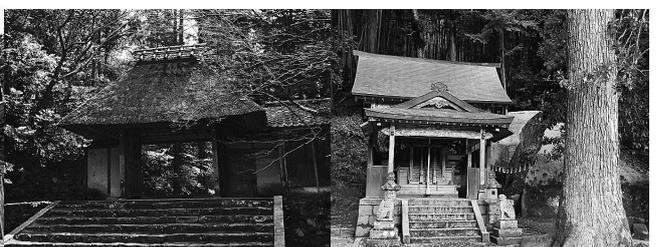
倒木

ナラ枯れ

放置竹林

シカ害

歴史的遺産(建造物・工作物など)



◎樹木の保全の場合
樹木全景



衰弱状況



④事業実施場所の位置図、事業地図



位置図

事業地図

(位置図)

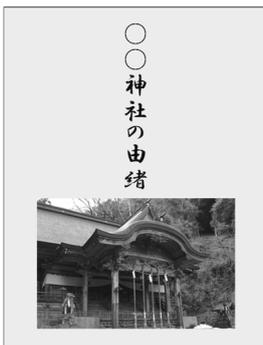
- ・事業実施場所の位置がわかる図を添付してください。

(事業地図)

- ・事業実施場所のうち、具体的な事業地を明示ください。

⑤歴史的遺産等に関する資料(由緒、来歴など)

◎歴史的遺産



パンフレット

(歴史・由緒)

(建造物)

(史跡、名勝)



古文書

〇〇名所図会

16 担当窓口

本庁担当課…お問い合わせ窓口

農林水産部 森の保全推進課 モデルフォレスト推進係

※本事業に関する御質問は、本庁担当課までお問い合わせください。

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 電話 075-414-5005
e-mail morinohozen@pref.kyoto.lg.jp FAX 075-414-5010

担当公所…事業の御相談、書類の提出窓口

京都林務事務所 林務課 電話 075-451-5724
所管地区：京都市、向日市、長岡京市、大山崎町 FAX 075-451-5745
〒602-0915 京都市上京区中立売通小川東入三丁町 449
e-mail kyotorinmu@pref.kyoto.lg.jp

山城広域振興局 農林商工部 森づくり振興課
所管地区：宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町
井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
〒611-0021 宇治市宇治若森7の6 電話 0774-21-3450
e-mail y-n-mori@pref.kyoto.lg.jp FAX 0774-22-8865

南丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 電話 0771-22-1017
所管地区：亀岡市、南丹市、京丹波町 FAX 0771-21-0118
〒621-0851 亀岡市荒塚町1-4-1
e-mail nanshin-no-mori@pref.kyoto.lg.jp

中丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 電話 0773-62-2586
所管地区：福知山市、舞鶴市、綾部市 FAX 0773-62-2859
〒625-0036 舞鶴市字浜2020番地
e-mail chushin-no-mori@pref.kyoto.lg.jp

丹後広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 電話 0772-62-4306
所管地区：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町 FAX 0772-62-4333
〒627-8570 京丹後市峰山町丹波855
e-mail tanshin-no-mori@pref.kyoto.lg.jp

17 事業説明会・個別相談会

本事業への応募を検討されている団体や関心をお持ちの方を対象とした事業説明会・個別相談会を開催します。

参加を希望される場合は、各開催日の前日までに下記申込先までお申し込みください。

- 第1回 日時 令和7年4月17日(木) 午後1時30分から4時まで
会場 京丹波町役場 本庁舎防災会議室 (京丹波町蒲生蒲生野487番地1)
- 第2回 日時 令和7年4月22日(火) 午後1時30分から4時まで
会場 京都府宮津総合庁舎 本館第三会議室 (宮津市吉原2586-2)
- 第3回 日時 令和7年4月25日(金) 午後1時30分から4時まで
会場 京都府山城南保健所 2階講堂 (木津川市木津上戸18-1)
- 第4回 日時 令和7年5月 9日(金) 午後1時30分から4時まで
会場 京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都 視聴覚室
(京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地)
- 第5回 日時 令和7年5月13日(火) 午後1時30分から4時まで
会場 京都府綾部総合庁舎 本館第二会議室 (綾部市川糸町丁畠10-2)

お申し込み方法

お申し込みフォーム又は e-mail、FAX のいずれかでお申し込みください。

(記載事項)

- ①希望日、②団体名、③氏名、④参加人数、
- ⑤連絡先(メールアドレス、電話番号など)、
- ⑥個別相談会 希望の有無(お申し込み順になります。)

※事業説明会の申込みにあたり、御記入いただいた個人情報、適切に管理し、本説明会に関する業務以外には使用しません。

お申し込みフォーム



内 容

京の森林文化を守り育てる支援事業の助成団体募集について

- ①事業概要
- ②事業審査と採択決定
- ③事業計画書の作成方法
- ④その他留意事項
- ⑤質疑応答
- ⑥個別相談会(希望団体のみ)

事業説明会・個別相談会のお申し込み・お問い合わせ先

京都府農林水産部森の保全推進課モデルフォレスト推進係

e-mail morinohozen@pref.kyoto.lg.jp

TEL 075-414-5005 FAX 075-414-5010

京の森林文化を守り育てる支援事業ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/shinrinhozen/moribunka.html>

京の森林文化

検索



令和7年度

京の森林文化を守り育てる支援事業 (募集要項)

令和7年4月1日発行

発行 : 京都府 農林水産部
編集 : 京都府 農林水産部 森の保全推進課
〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
電話 : 075-414-5005 FAX : 075-414-5010
e-mail : morinohozen@pref.kyoto.lg.jp

KYOTO の森を次代に伝えるために。

豊かな森を育てる府民税